



通常総代会とは？

通常総代会は年に1度開催される生協の最高議決機関です。前年度1年間すすめてきた事業・活動の確認や決算、今年度取り組むことなど、重要な意思決定を行います。

6月15日(火)ホテル青森で第29回通常総代会を開催しました。

今年の総代会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、規模を縮小し、運営を簡素化して開催しました。また、総代の皆さんには、書面議決書の提出をお願いし、書面での議決を中心に行いました。小池前理事長の開会の挨拶のあと、議事にはいりました。議事では、菅原専務理事より第1号議案から第7号議案まで議案書に基づく提案説明が行われ、小渡特定監事から監査報告が行われました。

コープあおもり第29回通常総代会を開催

質疑・答弁では、総代4名が発言。理事会より答弁が行われました。その後に行われた採決では総代定数500名に対し、実出席33名、委任出席1名、書面議決466名で成立、2020年度事業報告・決算報告・2021年度事業計画・収支予算など、7議案すべてが賛成多数で可決・承認されました。

今総代会をもって退任された理事が10名おり、代表して、小池前理事長と小野寺前監事から退任の挨拶がありました。また、新たに役員となる方の紹介が行われ、総代会の全日程を終了しました。



司会を務めた
理事の蝦名明美さん



前半の議長を務めた
下北地域の武井直子さん



後半の議長を務めた
下北地域の二本柳芳子さん

総代会を終えて

理事長 菅原正



去る6月15日(火)、ホテル青森で第29回通常総代会が開催されました。昨年はコロナ禍もあり本部で開催され、総代の実出席は10名でしたが、今年も感染対策を講じた上で、33名の総代が実出席し、委任出席1名、書面での出席466名、計全総代500名の出席で成立、質疑・答後に付いた採決の結果、第1号から第7号までの全ての議案が賛成多数で可決・承認されました。通常総代会での役員改選とその後の第1回理事会において、小池前理事長の後任として新たに菅原理



資格審査委員を代表して総代会が成立していることを報告する理事の川岸朋美さん



監査報告をする。
監事の小渡章好さん

事長に選出されました。これまで長年に渡りコープあおもりを支え、リードしていただいた小池前理事長をはじめ、今総代会で退任された理事・監事の方々に心より感謝いたします。

今回の総代会後の第1回理事会では、新たな専務理事として奥崎光秀さん、常務理事は引き続き正部家邦治さんが就任しました。奥崎専務は店舗事業(部長兼務)、正部家常務は機関運営(部長兼務)、経営管理、菅原は共同購入・生活事業・組合員活動をそれぞれ管掌します。今回就任した常勤理事3名がそれぞれの役割と責任をしっかりと果たし、一致団結・協力してコープあおもりの事業・運動を推進していくことが、コープあおもりの更なる発展につながっていくと考えています。

コープあおもりは1993年3月21日、当時の3生協(青森市民生協・弘前市民生協・八戸市民生協)が合併して誕生し、2010年3月21日には弘南生協とも合併して新

生コープあおもりが誕生し今日に至ります。この間、累積欠損を抱えた時期や、2008年の「中国製冷凍餃子事件」、2011年の東日本大震災など、多くの苦難を組合員・職員、そしてお取引先が協力・連携して乗り越えてきました。今年度で28周年を迎え、2年後の2023年にはコープあおもり創立30周年、青森県内に地域生協が誕生して50周年となる節目の年を迎えます。新型コロナウイルス感染症の収束は、いまだ目に見えない形で実感できる状況ではありませんが、「コープあおもりの基本理念」を常に事業・運動の中心に据え、「コープあおもりの行動指針」を心に刻み、今総代会で確認された「2021年度全体方針5つの柱」に沿って、組合員・職員・お取引先が事業・運動を協力して共にすすめる、その実現をめざしていきたいと考えています。そのために、組合員の声を大切にし、くらしに寄り添い、くらしの願いを実現できるよう、尽力してまいります。

2021年度 全体方針

5つの柱

- 1、組合員の声を大切にし、声に応える活動を進めます。
- 2、組合員のくらしに役立つ事業を推進します。
- 3、安心してくらせる地域社会づくりに貢献します。
- 4、人材の確保と職員の育成を図ります。
- 5、事業の損益改善と健全な経営づくりを進めます。